

Campus News

[キャンパスニュース]

2021. **7**
Vol.58

30th
1991→2021
静岡理工科大学開学30周年

【特集】

- 静岡理工科大学は開学30周年を迎えました
- ふくろい産業イノベーションセンターが開所
- 建築学科の第1期生が卒業



■ 新校舎「土木工学科棟(仮称)」の建設が始まりました

6月24日(木)に新校舎「土木工学科棟(仮称)」の着工にともない、地鎮祭を実施しました。新校舎は理工学部土木工学科の学科棟となる予定です。なお、土木工学科は2022年4月の新設に向けて文部科学省に設置届出中です(2021年7月31日現在)。

はじまりを、つくる



静岡理工科大学





学長挨拶

「読解力」の育成に向けて

学長 野口 博

昨今、文庫本や週刊誌を買い求めて電車に乗る人が減ったのか、駅中書店の平台や棚が減少しているように思えます。電車内やバス待ちの行列でも、スマホを見ている人が多く、書物を開く人の姿を目にする機会は少なくなりました。

スマホが普及し、若い世代の活字離れが進んでいると決めつけがちですが、一概にそうとは言えません。2019年の学校読書調査の結果では、小学生～高校生の不読率(1カ月間に1冊も本を読まない割合)はこの20年で、すべての世代で減少傾向にあり、一人当たりの一カ月の読書冊数も、小中学生では20年前の約2倍に伸びています。ただし、学年が上がるほど読書冊数は減っていき、高校生の読書冊数は月に約1.5冊と20年前から低い水準で横ばいとなっています。

現代は情報に溢れています。だからこそ、書物を読み、読解力を身につけることが大切です。情報を取り出し、吟味し、判断する力が身につかないと、「正しい知識」は身につかず、表層的な事象で感情的な判断をしてしまうことに繋がりがねません。

経済協力開発機構(OECD)の学習到達度調査(PISA)では、単純な記憶だけではなく、問題文から得られる情報を読み解き、応用する「読解力」が問われます。この力が、水や緑豊かな地球を守り、SDGsを達成するためには必要です。日本の未来を担う若人にはぜひ養っていただきたい能力です。

読解力を幅広く身に付けるために、スマホの利用時間を一度把握してみてください。自分を知ることが変化への第一歩になります。

新型コロナウイルスの収束もまだ見えず、先行きも不透明な時代です。ストレスを発散するためにも、袋井市などでの緑豊かな自然の風景に親しみ、心を和ませ、集中して自分の在り方を振り返る時間を確保し、仲間と一緒に楽しく過ごす、心拍数を上げる運動をするなど、一日を出来る限り、多様なスタイルで、ダイナミックに生きてみてください。その中で読書をし、多様な経験と知識や情報をリンクさせることが、読解力の会得につながるのです。

遠州灘

「われわれはどこから来たのか われわれは何者か われわれはどこへ行くのか」。これは、ゴーギャン(Eugène Henri Paul Gauguin)が1897～1898年にタヒチで描いた大作のタイトル名です。本学は、今年で開学30周年を迎えました。はや30年、もう30年、やっと30年、この間大学内も、大学を取り巻く環境も、さまざまな変化がありました。ゴーギャンの絵は、「命あるものは時を生き、時は終わりを告げる」とも解釈されます。しかし、大学には延々と受け継がれる豊かな知の世界が存在し、幸せな人生を送る為の学びの場が存在しています。「本学は何者か 本学はどこへ行くのか」未来が楽しみです。(K)



静岡理工科大学は 開学30周年を迎えました

本学は今年、開学30周年を迎えました。大場規之袋井市長ならびに宮川信之同窓会長から、お祝いのメッセージをいただきました。

新たな時代を静岡理工科大学とともに

開学30周年おめでとうございます。袋井市民を代表して、心からお祝い申し上げます。

「私たちのまちに大学を」という市民の思いのもと、静岡理工科大学が平成3年4月に本市に誕生して以来、大学・市・市民が手を携え、大学を活かしたまちづくりが行われてきました。

貴大学には「地域に開かれた大学」として、様々な地域貢献活動を行っていただいております。とりわけ本市学術交流振興基金を活用した地域住民向けの「公開講座」や「市民体験入学」など、あらゆる世代を対象として「学びの機会」を御提供いただいておりますことは、「人生100年時代」を生きる我々にとって非常に重要なことであると感じております。

また、「全日本学生フォーミュラ」での御活躍や、学生の皆様による本市のまちづくりへの参画は、まちに若いエネルギーをもたらしておりますし、教員の皆様の産業面における地域企業との連携は、市内企業の発展を支える力強い存在となっております。

「まちの活性化」に大きな期待が寄せられ誕生した貴大学は、この30年間で、本市にとって欠くことのできない重要な存在となりました。ぜひ今後も、地域に開かれた大学であり続けていただければ幸いです。

結びに、貴大学には、デジタル化の加速やグローバル化の進展による新たな時代を迎えている地域社会において、次代を担う優れた人材の輩出はもとより、先端技術を生かした地域産業への貢献や地域課題の解決に変わらぬ御支援をお願いするとともに、貴大学のますますの御発展を心から御祈念申し上げます。



袋井市長
大場 規之さん



同窓会長
宮川 信之さん

30年間の変化を誇りに感じて

静岡理工科大学開学30周年、誠におめでとうございます。卒業生を代表して、心よりお祝い申し上げます。同窓会員の皆様におかれましては、益々ご活躍のこととお慶び申し上げます。また、日頃より同窓会の活動や運営に関してのご協力を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

私は静岡理工科大学が開学した1991年に第1期生として入学しました。入学して間もない頃、袋井市内に大学が出来た事を知らない市民の方がいたことにショックを受けたことを覚えています。それからというもの、第1回の学園祭を企画するとともに、市内や県内の人々へ大学の存在を周知すべく、街頭パフォーマンスやマスコミを活用した宣伝に奮闘したのも今では良い思い出です。

卒業後も同窓会会長として大学の変化を身近に感じてきました。さまざまな研究施設や実験棟、学生生活の充実を図った施設の数々や、現在準備中の土木工学科開設についても非常に楽しみです。地域社会のニーズに合わせた大学の新たな挑戦は、同窓会員にとっても大変誇りに思います。

さて、静岡理工科大学同窓会も発足から25周年を経過しました。これに奮らず同窓会員の繋がり創出や強化を図る活動など、時代の変化に合わせた新たな挑戦を仲間と共に続けていきます。今後も静岡理工科大学同窓会は会員の親睦を深めることを目的に、組織の強化と活動の活性化、各地域のネットワーク確立を目指してまいります。

同窓会活動が地域社会で活躍する『会員のネットワーク』を築き、本学発展にも寄与してくれることと願います。最後に、静岡理工科大学のますますの発展と関係者の皆様のご壮健と各分野におけるご成功を祈念してご挨拶いたします。

特集

開学から30年のあゆみとこれから

1991年に1学部4学科で開学した本学は、2008年には総合情報学部（現：情報学部）、2017年には理工学部内に県内初の建築学科を設置し、2学部6学科体制で30周年を迎えました。また、2022年4月に理工学部土木工学科の新設を目指し、文部科学省に設置届出中です。

開学から30年とこれからのキャンパス風景の移り変わりの一部を写真で紹介いたします。

開学当初の学科構成

理工学部
機械工学科
電子工学科
知能情報学科
物質科学科

現在の学科構成

理工学部	情報学部
機械工学科	コンピュータシステム学科
電気電子工学科	
物質生命科学科	情報デザイン学科
建築学科	



開学当初の
キャンパス

2022年9月(完成予定)
土木工学科棟



2006年12月
夢創造ハウス竣工

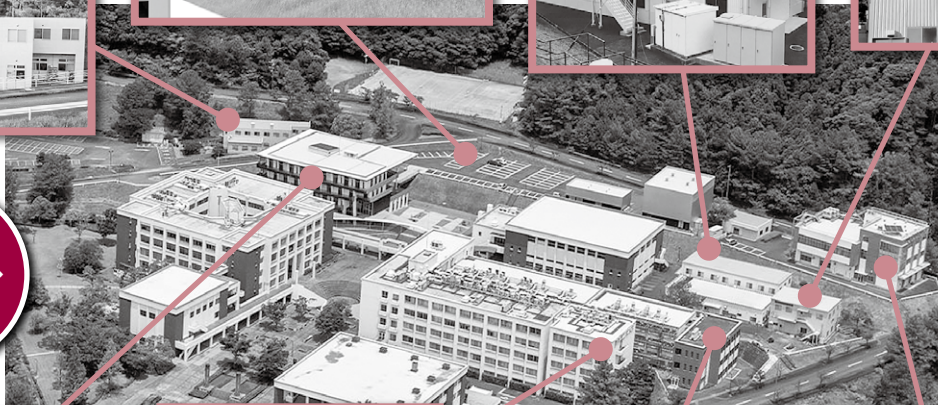


1998年2月
すずよくりクリエイティブ
ハウス竣工

2000年10月
クラブハウス開所



現在の
キャンパス
(2017年
4月撮影)



2013年6月
やらまいか創造
工学センター竣工



2017年3月
建築学科棟えんつりー竣工



1996年3月
研究実験棟(増築棟)竣工



2011年3月
先端機器分析センター竣工



開学30周年記念事業の一環として、学内のアメニティを刷新しました。2019年10月に学生ホールを誰でも使用できる開放的な空間とすべく、カフェテリアの新設と、内装デザインを一新しました。また、今年3月には学生ホール西側の緑地帯に、新たな憩い場として大屋根とテラス・ベンチを設置しました。



▲学生ホールリニューアル(2019年10月)



▲屋外空間に大屋根及びテラス・ベンチを設置(2021年3月)

6月5日(土)には、開学30周年記念公開講座をZoomウェビナーによるオンライン配信方式で開催しました。サイエンス作家の竹内薫氏を特別講師に招き、「アフターコロナ、AI時代に求められる人材と働き方」のタイトルで講演を行い、119名が聴講しました。AIの普及後に生き残る職業と無くなる職業の予測や、DX時代に求められる教育について話され、参加者からは「職業のみならず、今後の世界で人間に求められる能力が変わっていくことがわかり大変参考になった」などの感想をいただきました。

4月には開学30周年記念特設サイトを公開し、橋本理事長、野口学長のインタビューや、30周年記念事業のご案内、30年の歴史の紹介などを掲載しております。

また、5月には大学ホームページを全面リニューアルしました。

【開学30周年記念特設サイト】

URL : <https://www.sist.ac.jp/30th-anniv/>



▲30周年記念特設サイト



▲大学ホームページをリニューアル



▲教育棟に設置した30周年記念垂れ幕

特集

ふくろい産業イノベーションセンターが開所しました

4月2日(金)、本学のやらまいか創造工学センター内に、袋井市と共同で商工団体、金融機関と連携し「ふくろい産業イノベーションセンター」を開所しました。センター長には滋賀医科大学の小笠原敦特任教授を迎え、袋井市役所、浜松いわた信用金庫、袋井商工会議所、浅羽町商工会、本学の職員がコーディネータとして、市内や近隣地域の企業へ、大学のシーズを活かした技術支援を行います。

6月23日(水)には袋井新産業会館キラット(袋井市)で開所記念セミナーを開催し、小笠原センター長によるセンター紹介の後、ASTI株式会社の原



▲開所記念セミナーでのトークセッションの様子

一隆取締役から「イノベーションとは何か」のテーマで会社での新製品開発の成功事例や失敗事例、イノベーションを産むために必要

な環境などについて、講演をいただきました。その後、原一隆氏、浜松いわた信用金庫の平井正大専務理事、大場規之袋井市長、小笠原センター長によるトークセッションを開催し、DXの進行や自動車の電動化、新型コロナウイルス感染症の拡大など、様々な変化が続く中で、いかにして「稼ぐチカラ」を身につけるかについて討論を行いました。



▲開所式の様子

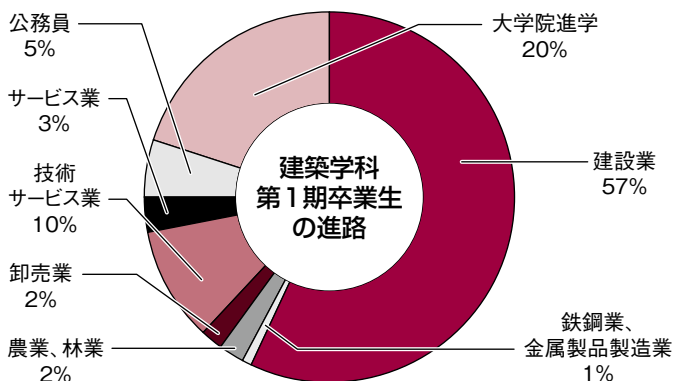
(左から野口学長、小笠原センター長、原田袋井市長(当時))

特集

建築学科の第1期生61名が卒業



▲2月18日に実施した卒業設計発表会の様子



【主な進路先】

石川建設株式会社/遠鉄建設株式会社/大河原建設株式会社/
加和太建設株式会社/株式会社シミズ・ビルライフケア/
ジェイアル東海建設株式会社/鈴与建設株式会社/
須山建設株式会社/東京鉄鋼株式会社/株式会社中村組/
西松建設株式会社/日管株式会社/平井工業株式会社/
株式会社ピーエス三菱/菱和設備株式会社/静岡市/焼津市/
袋井市/など

今年3月、理工学部建築学科の第1期生がめでたく卒業を迎えました。卒業生61名のうち49名が就職を希望し、住宅・ビルやインフラなどの建設会社、設計事務所をはじめ、鉄鋼業や設備メーカーなどの建築関係の業種に多く就職しました。就職率は100%を達成し、コロナ禍の中でもそれぞれが次の進路を見つけ、社会で活躍すべく本学から巣立っていきました。また、12名が大学院へ進学しました。そのうち11名が本学大学院へ入学し、更に専門性を高めるため、継続して建築学について学びます。



▲卒業式および卒業証書手交式

Message for S.I.S.T. [大学へのメッセージ]

研究室の「シーズ」を大切に活動に期待

磐田商工会議所 企業支援コーディネーター 宮武 哲さん



シーズとニーズは互いに補完しながら進むものと思っていますが、近年はややもすれば「ニーズ・現場重視」の声が多いように思います。悪い訳でなく、結果が大切で現場の声を重視することに全く異論はないのですが、世の中、既存の技術が成熟するにつれ、すぐに役立つようなマッチング案件が減って来たように思います。

そこで重要となってくるのが、大学や研究機関の「掘り下げた技術」や「研究室のシーズ」と連携した製品開発や事業への展開となります。

「大学・研究機関」と連携して成果を上げている企業がある一方、依然として「大学・研究所は別の世界」との考えの企業経営者も多く、この考えを取り除くのもコーディネーターの仕事だと思います。「親切押し売り業」でもあります。

このような産業界の情勢の中、静岡理科大学は年々研究分野が拡がり、研究内容も深いものになっていると思いますので、研究室の「シーズ」を前面に押し出した活動を期待するところです。

「ふくろい産業イノベーションセンター」の設立趣旨に大いに賛同するところです。

弊会議所も協力させて頂き、連携した活動で地域経済の活性化にお役に立ちたいと思いますので宜しくお願い致します。

SISTから羽ばたく若い力に期待する

鈴与建設株式会社 常務取締役建築施工本部長 櫻井 重英さん



今年4月待望の静岡理科大学建築学科第1期卒業生である、栗田君が弊社に入社しました。彼は現在、貴学に新設される土木工学科棟（仮称）新築工事において、新人現場監督として元気に施工管理業務に取り組んでいます。建築技術者としての第一歩を母校のキャンパスで踏み出したことは、彼にとっても終生忘れ得ない貴重な経験となるでしょう。

弊社はこれまで建築学科棟「えんつりー」をはじめ、本キャンパスの施設整備に数多く関わらせて頂いてきました。今後も地元静岡の建設会社として、ますます発展するこのキャンパスの高水準な教育・研究環境づくりのために貢献したいと考えています。そしてここから広い視野と高い志を持った若者が社会に巣立ち、静岡のみならず我が国の発展のために活躍してくれることを切に願っています。最後に在学生の皆さん、現場見学会を企画しますので建築施行とはどのような仕事か、学部学科に関係なくぜひ見に来てください。

授業の紹介

■ 建築設計・B1

建築学科では1年生後期から3年生後期まで、建築設計の演習授業が続きます。建築学科には大きく分けて意匠・計画系、構造・材料系、環境・設備系の3つがあります。建築学が最終的に建物を建てる事が目的にあるとすれば、この授業は様々な系で学んだことを統合して自身の設計にまとめる、軸となるような存在です。学年が上がるにつれ大きく複雑な建物を設計することになりますが、3年前期のB1では前半で静岡市の浅間神社の参道でもある浅間通り商店街に集合住宅を設計する課題としています。まちづくりまで視野に入れた計画は、これからの建築家が単体の建物だけを考えるのではなく、家族の在り方や生活と生業（なりわい）の関係性、そして街全体を視野に入れる必要性を説いています。毎回学生は模型やスケッチを用意し、グループや個人で担当教員のエスキスチェック（対面アドバイス）を受けて作業を進めます。一教員15名程度の担当なので、3、4限の授業は時には6限にまで食い込む事もしばしばです。



担当教員：建築学科 准教授 田井 幹夫

第2回公開講座

1月30日(土)、「くすりを『創る』・『患部に届ける』を科学する」をテーマに、第2回公開講座をオンラインで開催しました。物質生命科学科の小土橋陽平准教授と、名古屋大学大学院創薬科学研究科の加藤竜司准教授がそれぞれ講演を行いました。参加いただいた44名の受講者からは「最新の薬の創り方が知れてよかった」「薬を届ける技術の大切さがわかった」などの感想をいただきました。



高校生ものづくり・ことづくり プランコンテスト2020最終審査会

2月20日(土)、高校生の考える「こんなモノがあったらいいのに」や「こんなコトをやってみよう」というアイデアを競う、「高校生ものづくり・ことづくりプランコンテスト2020最終審査会」を開催しました。今回は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、浜松市内の会場とオンラインでの並行開催で実施しました。

今回で8回目の開催となった本コンテストには、静岡県内外の高校から過去最多の64校532件の応募がありました。最終審査に進出した5グループによるプレゼンテーションの結果、清水端里奈さんを代表者とするグループ(金沢大学附属高等学校)が考案した、公共交通機関の椅子向けに足腰の弱い高齢者が座っても立ち上がりやすくする装置「chAIR(チェアー)」が最優秀賞に輝きました。また、静岡理科大学学長賞には、アトピー性皮膚炎患者用の日常生活の中でも着用できる掻きむしり防止アイテム「フィンガーボール」を考案した森田梨花さん(静岡県立浜松工業高等学校)が受賞しました。



アグリニクス研究会講演会

3月4日(木)と3月10日(水)にアグリニクス研究会主催の講演会を開催しました。4日の講演会ではアグリツーリズムをテーマに情報デザイン学科の林章浩教授と、農家民宿カフェcoco-Rinマネージャーの久米ゆき氏が、10日の講演会では、メロン毛病をテーマに物質生命科学科の齋藤明広教授と静岡県農林技術研究所植物保護・観光保全科上席研究員の伊代住浩幸氏がそれぞれ講演を行いました。



記念図書贈呈

3月5日(金)、袋井市立図書館へ卒業生からの募金で購入した記念図書の寄贈式を行いました。大学4年間でお世話になった袋井市へのお礼として、第1期卒業生から一昨年度まで25年間続いた愛野公園への記念植樹に代わり、昨年度からは図書の寄贈を行っています。市民の皆さんが読みたい・読んでいただきたいを念頭に88冊(約18万円相当)を選定しました。卒業生たちは「贈った本が有意義に活用されることを願っています」と話しました。寄贈した図書は袋井市立図書館に蔵書されます。



建築学科外部卒展

3月5日(金)から7日(日)にかけ、遠鉄モール街ビルAny(浜松市)で建築学科外部卒展「微風」を開催しました。建築学科の第1期卒業生となる卒研生の有志9名が制作した卒業設計作品を一般に公開し、展示を行った学生は「4年間の集大成を公開できる場が作れたことで大きな達成感を得ることができ、観覧いただいた方からの意見は自分にはない視点で参考になった。社会に出てからもこの経験を活かしていきたい」と話していました。



卒業式

3月13日(土)、令和2年度卒業証書・学位記授与式を挙行了しました。今回は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、理工学部生を午前の部、情報学部生と大学院生を午後の部と分けて実施し、保護者の方向けに式の様子をZoomで配信しました。学部生317名と大学院生11名が卒業・修了しました。卒業生に向け、野口博学長より「本学で学んだことを活かし、変化する世の中で活躍してほしい」とエールが送られました。



入学式

4月3日(土)、令和3年度入学式を挙行し、理工学部170名、情報学部118名と、大学院生32名が入学しました。令和2年度卒業式と同様、理工学部生を午前の部、情報学部生と大学院生を午後の部と分けて実施し、保護者の方向けに式の様子をZoomで配信しました。午前の部で宣誓した電気電子工学科の竹田泰知さんは「様々なことに自発的に取り組み、充実した学生生活にしたい」と述べました。



藤枝Biviでお理工塾!!

6月19日(土)、学校法人静岡理工科大学 藤枝イノベーション・コモンズ(藤枝市)で、藤枝市内の小学生を対象とした理科実験教室イベント「藤枝Biviでお理工塾!!」を開催しました。本学学生団体のお理工塾応援隊のメンバーが講師となり、参加した小学生24名に顕微鏡の仕組みを使った実験講座を行いました。参加した子どもたちからは「普段は見えない小さなものが見えて楽しかった」、「いろいろなものを観察してみたい」と声があがりました。



SIST体験型講座

7月10日(土)、本学・やらまいか創造工学センターで令和3年度SIST体験型講座を開催しました。「ドローンの飛行原理を知り、飛行プログラムを作る」のテーマで機械工学科の田村博特任講師が講師を務め、参加者はドローンに関する法律や動作原理の講義を受けた後、スマートフォンやタブレットを使ったドローンの操作を体験しました。当日は15名が参加し、「毎日のようにテレビで目にするドローンに触れることができとても楽しかった」と感想をいただきました。



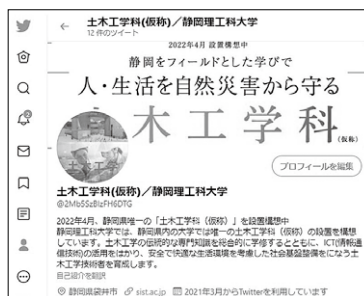
入試広報NEWS

■土木工学科(設置届出中)の設置準備状況をtwitterでチェック!!

2022年4月の設置に向け設置届出中の土木工学科の公式twitterを開設しました。既に着任している中澤博志教授(土木工学科設置準備室)を中心に、学科開設に向けて準備・PRをしている様子や新設予定の校舎の進捗状況などをお届け中です。

みなさんの知りたい部分をお届けしていきますので、是非フォローをお願いします。

※中澤先生の専門分野は「地盤の液化化対策」。大学説明会などでは、地震発生時に液化化現象が起きるメカニズムなどを題材に土木工学の重要性や面白さをお伝えしています。



Twitterはこちら



受験生サイトはこちら

■2021年度のオープンキャンパスは「学校開催版」と「WEB版」のハイブリット開催!

「学校開催版」に参加し、キャンパス(特に研究設備)や大学の先生の雰囲気を感じ、理工系大学の「研究」の魅力を感じよう!

●開催日: 学校開催版 7月24(土)、7月25(日)、8月21(土)、8月22(日)、9月11(土)、9月12(日)

「WEB版」で大学の模擬講義や全研究室の紹介動画などを視聴。大学について深く知ろう!

※イベント内容は変更となる可能性があります。詳細や参加申し込みは、本学受験生サイト(<https://www.sist.ac.jp/navi/>)からどうぞ!

人事異動

①専門分野 ②略歴 ③趣味

令和3年4月1日付採用



機械工学科 准教授
黒瀬 隆

- ①複合材料、高分子成形加工学、構造力学
- ②山形大学大学院理工学研究科博士課程修了。トヨタ自動車(株)、山形大学プロジェクト准教授を経て、本学准教授に就任。
- ③温泉、スポーツ、家族で山歩き



機械工学科 特任講師
鈴木 弘人

- ①流体工学、機械力学・制御
- ②日本大学理工学部卒業。ヤマハ発動機株式会社で無人ヘリの開発等に従事した後、本学特任講師に就任。
- ③ラジコン飛行機の設計、人力飛行機の開発、沖縄旅行



電気電子工学科 准教授
本良 瑞樹

- ①集積回路工学、無線通信工学
- ②東京大学大学院工学系研究科博士課程修了(博士(工学))。東北大学電気通信研究所助教を経て、本学准教授に就任。
- ③日曜大工、ツーリング、道路地図を読む



コンピュータシステム学科 教授
富樫 敦

- ①情報学基礎理論、数値情報学、統計科学、ソフトウェア、知能情報学
- ②東北大学大学院工学研究科博士後期課程修了。宮城大学事業構想学群教授を経て、本学教授に就任。
- ③仕事(研究・教育)、ジョギング



土木工学科設置準備室 教授
中澤 博志

- ①地震工学、地盤工学、地盤防災工学
- ②東京理科大学大学院理工学研究科修士課程修了後、同大学院で博士(工学)。防災科学技術研究所を経て、本学教授に就任。
- ③野球観戦、散歩



機械工学科 教授
吉見 直人

- ①金属(鉄鋼)材料の機能性表面処理・防錆、薄膜コーティング
- ②九州大学大学院工学府博士後期課程修了。JFEスチール株式会社を経て、本学教授に就任。
- ③美術館めぐり、ウォーキング

お疲れ様でした
(令和3年3月31日付退職)

- 機械工学科 教授
藤原 弘
- 電気電子工学科 准教授
山本 健司
- 電気電子工学科 准教授
加藤 文和
- 物質生命科学科 教授
小林久理真
- コンピュータシステム学科 教授
金久保正明
- コンピュータシステム学科 講師
江原 遥

令和3年度 優秀賞表彰

受賞者の皆さん、おめでとうございます!

1年間の学業が優秀であり、人物面においても本学学生として模範である学生に贈られる「静岡理科大学優秀賞」の受賞者36名が決定しました。

機械工学科

2年生 横井 優太
2年生 中村 星哉
3年生 早馬 由菜
3年生 松岡 竜輝
4年生 小木 稜平
4年生 陳 慧強

4年生 河合 憲康
院1年生 原田 航希

物質生命科学科

2年生 大西 彩羽
2年生 海野 真輝
3年生 山本なつみ
3年生 齊藤 俊介
4年生 百瀬 月花
4年生 大木 萌

建築学科

2年生 森下 空々

2年生 戸塚 俊汰
3年生 太田 空
3年生 大平 成耶
4年生 田中 葵
4年生 岩崎 亮太

コンピュータシステム学科

2年生 河合 秀武
2年生 野澤 友希
3年生 大塚 尚樹
3年生 保坂龍ノ介
4年生 桑田 彩華
4年生 豊田 佳樹

情報デザイン学科
2年生 山泉 健
2年生 守屋真那斗
3年生 篠島 天太

3年生 松浦 里英
4年生 尾形加奈恵
4年生 入野綾菜





■ 新 同窓会評議員紹介

同窓会会員数
8,666名



同窓会評議員
板津 森さん
(電気電子工学科)
卒業生

この度、第27期卒業生の代表として同窓会評議員に任命されました。板津森です。今後は、同窓会役員として、同窓会活動を楽しく、真摯に向き合っていければと思っています。

さて、現在の同窓会では、「記念行事」や「ホームカミングデー」など、久しぶりの友達や先輩、先生たちなどと語り会えるイベントを企画しています。今年もコロナ禍が終息しておらず、多くの不安がございいますが、“やるとやらないとでは少し違う”という宮川同窓会長のお言葉に沿って、LINEやWEBなどのネットワークを使用し、現代の状況にも臨機応変に対応しつつ楽しく会える場を増やせればと思っています。また、引き続きSNSを通じて大学の状況や活動を発信することで遠方に居る同窓生などの方々に大学との繋がりを身近に感じて頂ければと思っています。

初めてのことで力不足ではありますが、活動を大いに盛り上げることができればと思います。今後とも同窓会活動へのご理解ご協力とご支援を賜りますようよろしくお願い致します。

■ 「同窓会25周年記念行事」及び「第2回WEBホームカミングデー」の開催について

現在、同窓会では、「25周年記念行事」及び「第2回WEBホームカミングデー」の開催について、コロナ禍において開催可能な内容や方法を検討しております。各イベントの詳細並びに開催可否等については、同窓会公式HP及び各種SNSを通じてご連絡致します。

同窓会活動にも様々な制約を受けておりますが、感染状況が落ち着くまで同窓生の皆さんも、健康には十分気を付けてお過ごしください。

※大学では、同窓生のご子息・ご子女が入学した場合に、奨学金を給費する制度を設けています。詳細は、大学：学務課(0538-45-0113)までお問い合わせください。

■ 同窓会各種SNSのお知らせ

ホームカミングデー等の開催告知、役員コラム、同窓会ニュース等の最新の情報を一早くお届けします! 盛りだくさんの内容となっておりますので、是非登録してください!



■ 保護者懇談会の開催について

本学の保護者懇談会では、午前全体会及び学科別懇談会、午後個別面談(希望者のみ)を開催しています。

全体会では、本学の就職状況や外部講師をお招きして講演会を行っており、学科別懇談会では各学科の特徴や近況などについて説明させていただいております。また、午後に行われる個別面談では、ご希望の方のみとなりますが、助言教員より学業成績や学生生活の様子などについてお話をさせていただいております。

昨年度の「保護者懇談会」は新型コロナウイルス感染予防の観点から、「全体会」は中止としましたが、Web会議システム「Zoom」を使用し、当日来学された方も来学できなかった方も参加するスタイルで「学科別懇談会」を実施しました。

現在、新型コロナウイルスの感染防止の観点より、2021年度の保護者懇談会については、実施の可否を開催方法も含めて検討しております。詳細については9月に送付する学納金納付書に案内文を同封させていただくか、Webポータルでお知らせいたします。



▲2019年の懇談会の様子

メカトロニクス研究室(機械工学科)

おじゃまします。

研究室訪問

第46回



メカトロニクス研究室では、人の生活、作業を支援するメカトロニクスシステムをテーマに、車いすの自動走行、農作業支援ロボット、協調ロボット、移動精度計測技術などの研究を進めています。私たちが暮らすフィジカル空間への働きかけをするためには機械の存在が不可欠です。機械と電子の融合を語源とするMechatronicsは、さらに情報、通信等、幅広い領域を対象とするようになり、学問領域が広範囲に渡ることから、研究室に配属された学生には、シ

ステム設計、3D CADによる機械設計・製作、回路設計・製作、ソフトウェア設計・コーディング、および開発したシステムの有用性の評価までを実践し、産業界で活躍するその土台を身に着けるとともに成果を学会で発表してもらいます。

研究室学生からひとこと

鍋田 真央 さん(理工学部機械工学科4年)

私は、農業作業ロボットの自律走行についての研究をしています。ポスト5G時代を見据えてクラウド上で自動走行に必要な計算を処理する研究が進められていますが、農業が盛んな地域では通信が不安定な場合があり、通信が途絶えてしまうとロボットは自分の位置を見失い、動かなくなってしまいます。私の研究の目標は一時的な通信が途絶してしまったロボットが、通信が復帰するまで自分の位置を見失わずにする方法の検討です。今期の私達の研究室には様々な分野の研究に取り組んでいる仲間たちがいます。様々な分野の意見や考え方、情報を交換し合いより良い研究結果を出したいと思います。

研究室担当教員

飛田 和輝 先生

■プロフィール

東京都出身。電気通信大学大学院電気通信学研究科修了。博士(工学)。電気通信大学、日本精工(株)を経て、2018年に本学理工学部機械工学科に着任。精密計測、移動ロボット、協調作業ロボットなどの研究に従事。

活躍する卒業生

袋井市役所 都市建設部 維持管理課 管理係

新村 彬人さん

(情報学部情報デザイン学科第25期卒業生)

私は、出身地である袋井市に貢献するため袋井市役所の職員になることを目標に学生生活を過ごしました。袋井市役所職員と課題に取り組む地域学や、地元のボランティアに積極的に参加することで、地域貢献をすると共に、他者との交流を図りコミュニケーション能力を身につけました。富田研究室では、運動による筋力の向上や、有酸素性エネルギー代謝の向上などの運動生理学を学ばせていただきました。自分自身も運

動が好きなので、研究内容は興味深く、実践できるものは日々の運動に取り入れていきました。研究には多くの人の協力が必要になりますが、研究の協力や下準備ができていないなど協調性に欠ける面もありました。その反省を活かし現在の業務では「報・連・相」を確実に行うよう心掛けています。勉学だけでなく人間としても学ぶことが多かった学生生活を送らせていただきました。

現在は袋井市役所で道路や水路の管理を行っています。道路や水路は市民の方が生活するうえで必要不可欠なものなので責任は重大であり、法的な知識も必要となるため日々勉強は欠かせません。今後は業務への知識や関心を深めるため、行政書士や社会保険労務士などの資格取得を目指しています。

編集後記

6月5日(土)の開学30周年記念公開講座を拝聴しました。昨今、AIが万能で、何でも解決してくれる魔法かのように誤解している発言を度々耳にしますが、竹内薫氏の講演ではそうした夢物語でなく、AIの限界について述べられておりました。また、それが自分の理解とおおむね一致していることに安心した次第です。建築分野にもAIの波が押し寄せてきており、既に大規模ビルでは稼働していますが、技術に対して正しい理解がなかなか進んでいないのが現実です。今後、建築分野に限らず、世の中にAIを普及していくには、まずはAIや技術の種類や使い方を正しく理解し、伝えていく必要があると思っています。(N)

静岡理科大学キャンパスニュース

令和3年7月31日発行

企画・編集・発行/静岡理科大学 大学広報委員会

〒437-8555 静岡県袋井市豊沢2200-2

TEL.0538-45-0111 FAX.0538-45-0110

https://www.sist.ac.jp E-mail:shakai@sist.ac.jp

